



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 コージンバイオ株式会社 上場取引所 東
コード番号 177A URL <https://kohjin-bio.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 中村 孝人
問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員（氏名） 平田 賢二（TEL） 03-5784-2272
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	2,504	△0.1	257	△32.2	272	△34.7	202	△27.1
2025年3月期中間期	2,507	—	379	—	416	—	277	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 154百万円（△54.8％） 2025年3月期中間期 340百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	39.53	—
2025年3月期中間期	55.70	—

（注）1. 当社は、2024年3月期中間期については、中間連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	8,843	5,813	65.7
2025年3月期	9,066	5,781	63.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 5,813百万円 2025年3月期 5,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通 期	5,679	9.1	1,065	7.5	1,135	6.6	822	3.5	160.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	5,111,600株	2025年3月期	5,111,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	一株	2025年3月期	一株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	5,111,600株	2025年3月期中間期	4,976,792株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、引き続き個人消費の持ち直し傾向が見られる一方で、物価高や円安の影響により、消費者心理の回復には時間を要する状況が続いております。企業活動においては、設備投資は堅調に推移しているものの、人手不足や原材料価格の高止まりが収益性に影響を及ぼしています。

海外経済に目を向けると、米国では利下げ観測が強まる中、雇用や消費の安定が景気を下支えしていますが、中国では不動産市場の低迷が続き、欧州では地政学的リスクやエネルギー価格の変動が依然として企業活動に不透明感を与えています。

再生医療業界においては幹細胞治療や遺伝子治療の分野で技術革新が進展し、国内外での臨床応用が拡大しています。日本市場においても、iPS細胞を活用した研究開発や企業間連携が進み、市場の成長が加速しています。

このような経済環境の中で当社グループは、引き続き研究開発体制の強化、製造プロセスの最適化、品質管理体制の充実を図り、持続可能な成長基盤の構築に努めております。

当中間連結会計期間において、国内外の再生医療市場の拡大に伴い、細胞培養用培地の販売が堅調に推移いたしました。一方、新型コロナウイルスの新規感染者数が2025年8月から9月にかけて増加傾向にあったものの、関連製品の販売が前年同期のような伸びが見られず、また、細胞加工事業においても、契約先医療機関からの細胞加工の受託件数が減少傾向となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は2,504百万円（前年同期比0.1%の減少）となり、営業利益は257百万円（前年同期比32.2%の減少）、経常利益は272百万円（前年同期比34.7%の減少）、親会社株主に帰属する中間純利益は202百万円（前年同期比27.1%の減少）となりました。

なお、各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(組織培養事業)

当中間連結会計期間における組織培養事業は、国内外での再生医療分野における研究開発および臨床試験の活発化に伴い、細胞培養用培地の需要が引き続き堅調に推移いたしました。特に中国を中心としたアジア圏では、細胞治療市場の拡大が継続しており、同地域向けの製品販売が増加いたしました。

国内においては、自由診療領域の細胞治療で使用される細胞培養用培地の販売が、計画を若干下回ったものの、既存顧客からの製造受託案件の受注が進み、事業全体として安定した成長を維持いたしました。

この結果、売上高は1,281百万円（前年同期比16.4%の増加）、セグメント利益（営業利益）は501百万円（前年同期比43.1%の増加）となりました。

(微生物事業)

当中間連結会計期間における微生物事業は、細菌検査用培地の販売が病院等の臨床分野および製薬企業等の産業分野において需要が横ばいで推移し、前年同期比で大きな変動は見られませんでした。

一方、新型コロナウイルスの感染者数は2025年8月以降増加傾向にあったものの、抗原検査キットの販売は前年同期のような伸びには至らず、期初計画を下回ることとなりました。

この結果、売上高は686百万円（前年同期比11.7%の減少）、セグメント損失（営業損失）は36百万円（前年同期は103百万円のセグメント利益）となりました。

(細胞加工事業)

当中間連結会計期間における細胞加工事業は、前連結会計年度に一時販売を停止していた細胞加工関連製品の販売を再開し、前年同期の実績は上回ったものの、需要の回復は限定的となり、期初計画を下回る水準で推移いたしました。

また、細胞加工受託については、インバウンド需要は依然として高水準を維持しているものの、細胞加工業者間の競争が激化していることから、契約先医療機関からの細胞加工受託件数は減少傾向となりました。

この結果、売上高は536百万円（前年同期比14.8%の減少）、セグメント利益（営業利益）は75百万円（前年同期比60.4%の減少）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 財政状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は4,638百万円となり、前連結会計年度末に比べ428百万円減少いたしました。これは主に、新倉庫完成に伴い未収消費税等を計上したこと等によりその他流動資産が121百万円増加した一方で、新倉庫の建設費用や配当金の支払い等により現金及び預金が561百万円減少したことによるものです。

また、固定資産は4,205百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円増加いたしました。これは主に、新倉庫の建設等により有形固定資産が208百万円増加したことによるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ223百万円減少の8,843百万円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は2,335百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円減少いたしました。これは主に、法人税等の納付により未払法人税等が38百万円減少したこと、及び未払金や未払消費税等の減少によりその他流動負債が108百万円減少したことによるものであります。

また、固定負債は694百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の振替により長期借入金が75百万円減少したことによるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ254百万円減少の3,029百万円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は5,813百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が48百万円減少したものの、剰余金の配当122百万円を上回る親会社株主に帰属する中間純利益202百万円の計上により利益剰余金が79百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ561百万円減少の2,387百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は201百万円（前年同期比316百万円の収入減少）となりました。これは主に、法人税等の支払額100百万円（前年同期比59百万円の支出増加）、未払金及び未払費用の減少額73百万円（前年同期比50百万円の支出増加）、及び持分法による投資利益の計上45百万円（前年同期比10百万円の減少）があったものの、税金等調整前中間純利益273百万円（前年同期比93百万円の減少）、減価償却費193百万円（前年同期比17百万円の増加）の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果支出した資金は518百万円（前年同期比51百万円の支出増加）となりました。これは主に、新倉庫の建設を始めとする有形固定資産の取得による支出508百万円（前年同期比50百万円の支出増加）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果支出した資金は219百万円（前年同期は1,485百万円の資金獲得）となりました。これは主に、前年同期における新規上場に伴う株式の発行収入1,653百万円による影響、及び当中間連結会計期間における配当金の支払額120百万円（前年同期比62百万円の支出増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想につきましては、2025年5月14日公表の「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で開示いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,149,267	2,587,815
受取手形及び売掛金	809,413	789,089
電子記録債権	177,201	211,725
商品及び製品	313,323	287,148
仕掛品	90,206	127,391
原材料及び貯蔵品	477,216	463,043
その他	52,311	173,829
貸倒引当金	△1,975	△1,943
流動資産合計	5,066,964	4,638,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,071,841	1,953,753
土地	599,172	599,172
その他（純額）	1,582,638	909,456
有形固定資産合計	3,253,652	3,462,383
無形固定資産	27,262	21,620
投資その他の資産	718,768	721,002
固定資産合計	3,999,683	4,205,005
資産合計	9,066,648	8,843,105

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	134,081	139,223
電子記録債務	75,344	74,949
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	150,000	150,000
未払法人税等	114,136	75,882
賞与引当金	79,840	69,864
その他	433,900	325,308
流動負債合計	2,487,303	2,335,227
固定負債		
長期借入金	375,000	300,000
退職給付に係る負債	46,000	48,585
資産除去債務	66,214	66,498
その他	310,307	279,614
固定負債合計	797,522	694,698
負債合計	3,284,826	3,029,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,984	1,253,984
資本剰余金	1,153,134	1,153,134
利益剰余金	3,265,071	3,344,444
株主資本合計	5,672,189	5,751,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,427	3,741
為替換算調整勘定	106,204	57,874
その他の包括利益累計額合計	109,631	61,615
純資産合計	5,781,821	5,813,178
負債純資産合計	9,066,648	8,843,105

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,507,586	2,504,480
売上原価	1,448,523	1,491,859
売上総利益	1,059,062	1,012,620
販売費及び一般管理費	679,280	754,967
営業利益	379,782	257,653
営業外収益		
受取利息	524	2,441
受取配当金	84	151
受取賃貸料	5,618	5,618
持分法による投資利益	55,988	45,969
その他	3,636	1,036
営業外収益合計	65,851	55,216
営業外費用		
支払利息	14,325	19,225
支払手数料	10,070	1,504
支払補償費	-	14,634
その他	4,358	5,492
営業外費用合計	28,754	40,856
経常利益	416,879	272,013
特別利益		
固定資産売却益	1,608	-
補助金収入	-	11,694
特別利益合計	1,608	11,694
特別損失		
固定資産除却損	520	10,014
基幹システム変更に伴う損失	51,172	-
特別損失合計	51,693	10,014
税金等調整前中間純利益	366,794	273,693
法人税等	89,597	71,641
中間純利益	277,196	202,051
親会社株主に帰属する中間純利益	277,196	202,051

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	277,196	202,051
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	383	313
為替換算調整勘定	63,106	△48,330
その他の包括利益合計	63,490	△48,016
中間包括利益	340,686	154,035
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	340,686	154,035

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	366,794	273,693
減価償却費	175,584	193,574
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24,714	△31
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,678	△9,663
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,026	2,585
受取利息及び受取配当金	△609	△2,592
支払利息	14,325	19,225
持分法による投資損益 (△は益)	△55,988	△45,969
固定資産売却損益 (△は益)	△1,608	-
固定資産除却損	520	10,014
売上債権の増減額 (△は増加)	74,786	△30,441
棚卸資産の増減額 (△は増加)	8,954	△4,109
未収入金の増減額 (△は増加)	3,285	△12,511
未収消費税等の増減額 (△は増加)	2,134	△8,046
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,961	12,948
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△23,218	△73,355
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,672	△38,713
その他	35,928	△11,929
小計	572,592	274,677
利息及び配当金の受取額	542	46,399
利息の支払額	△14,607	△19,223
法人税等の支払額	△40,382	△100,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	518,146	201,731
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△200,000
定期預金の払戻による収入	-	200,000
有形固定資産の取得による支出	△458,102	△508,692
有形固定資産の売却による収入	2,401	-
有形固定資産の除却による支出	-	△9,348
無形固定資産の取得による支出	-	△171
敷金及び保証金の差入による支出	△10,995	△42
敷金及び保証金の回収による収入	-	122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△466,696	△518,132
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△500,000	△500,000
長期借入金の返済による支出	△75,000	△75,000
株式の発行による収入	1,653,044	-
リース債務の返済による支出	△27,294	△23,369
配当金の支払額	△58,310	△120,457
その他	△6,620	△1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,485,818	△219,827
現金及び現金同等物に係る換算差額	42,575	△25,223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,579,843	△561,451
現金及び現金同等物の期首残高	1,726,936	2,949,267
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,306,780	2,387,815

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額(注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から 生じる収益	1, 101, 203	776, 768	629, 614	2, 507, 586	—	2, 507, 586
外部顧客への売上高	1, 101, 203	776, 768	629, 614	2, 507, 586	—	2, 507, 586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1, 101, 203	776, 768	629, 614	2, 507, 586	—	2, 507, 586
セグメント利益	350, 330	103, 735	190, 773	644, 840	△265, 057	379, 782

(注) 1. セグメント利益の調整額△265,057千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額(注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から 生じる収益	1, 281, 800	686, 263	536, 415	2, 504, 480	—	2, 504, 480
外部顧客への売上高	1, 281, 800	686, 263	536, 415	2, 504, 480	—	2, 504, 480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1, 281, 800	686, 263	536, 415	2, 504, 480	—	2, 504, 480
セグメント利益又は 損失 (△)	501, 303	△36, 186	75, 576	540, 693	△283, 040	257, 653

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△283,040千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。